



## 審査員(ジャッジ)へのインフォメーション(日本語の部)

ITC-Jスピーチコンテストの審査員をお引き受けくださいますありがとうございます。

ITC-Jの組織は、会員のコミュニケーション技術の向上を目指して訓練しています。「完璧な」演説者の養成が目的ではなく、どんな状況にあっても、会員が効果的に意思を伝えられるよう手助けをしています。

スピーチコンテストは、スピーチの構成法や表現技術を上手に使う、口頭によるコミュニケーション技術を会員が実際に発表するよい機会です。

審査員の皆様には、審査にあたり、スピーカーの視線の配り方や壇上の態度だけでなく、スピーチの構成、組み立てかた、文法、創造性、そして全般的な効果にも注意してお聴きください。

### スピーチ

クラブレベルコンテストの3週間前に、各出場者に同じ3つの論題が与えられます。その中から1つを選び、題目をつけてスピーチを作成します。それ以後、どのレベルでも新しい論題は与えられません。

上部レベルのコンテストに出場する時は、同じスピーチ、修正したスピーチ、又はクラブレベルで与えられた他の論題を選び作成した新しいスピーチでもよい、となっております。

但し、スピーチは出場者独自のものとし、印刷物や出版物の一部を引用する場合は、出典を述べなければなりません。

尚、スピーチの内容は政治的、宗教的な偏見は含まず、物語形式ではないものとします。

### 制限時間

スピーチの制限時間は、5分以上8分以内とします。

5分が経過すると計時係が照明による合図をして、1分間点灯します。

9分経過すると、計時係が起立してスピーチの停止を求めます。

### 審査

審査員採点用紙は、いろいろな側面を審査するための用紙です。2分以内で各項目ごとに出場者のポイント数をご記入ください。

尚、最後の出場者の採点が終わっても、投票用紙のご記入はお待ちいただき、プログラムリーダーから記入の要請がなされましたら2分以内でご記入ください。

審査員の投票用紙は、記入完了後、回収し、投票計算係が集計し、テラー報告書に入賞者を記入します。

尚、同点がでた場合は、審査員が別室にて、話し合いで決定します。その司会はコンテスト委員長が務めます。入賞者はプログラムリーダーが発表します。

審査員採点用紙の回収はいたしません。

審査員の皆様にはコンテスト審査のためにお時間を割いていただきますこと、ご経験をご提供して下さいますことに重ねて御礼申し上げます。

審査に関してのご質問、採点用紙、投票用紙、計時、投票手順などご不明な点は、ご遠慮なくスピーチコンテスト委員長にお問い合わせいただければ、ご説明いたします。